

会報広告掲載趣意書

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は日本認知症予防学会東京都支部（以下、支部）の活動に、格別のご高配を賜り心より御礼申し上げます。

日本認知症予防学会は、認知症治療に携わる医師や介護施設職員、自治体職員など多くの業種の方々が集い、ともに「予防の観点からの認知症対策」を考え、認知症への理解を深めていただき、家庭や職場など日常生活のあらゆる場を通して、早期発見・早期治療・予防につなげていくことを活動目的としていますが、東京都支部では、さらに「認知症基本法案」を基軸とした新たな「認知症施策大綱」を見据え、認知症の人との「共生」と認知症の「予防」、そして「連携」というキーワードを加えた3つのビジョンを掲げ活動していく所存です。多職種が集約されたここ東京という地の利を活かした緊密な交流活動を推進し、連携と交流を促進するため、「顔と人柄の見えるスキルアップセミナー」を頻回にかつ継続的に開催し、地域における各種活動のサポート、コーディネートを推進して参ります。さらに、企業への働きかけや学会への参加を促進し、認知症予防検診事業の拡充や ICT (information and communication technology) を応用した地域包括システム構築、遠隔医療の実現、IoT (internet of things) 技術と AI による臨床応用にも関与したいと考えます。

都内在住の認知症高齢者は複数の疾病を抱え、独居や経済的困窮といった問題に直面しているケースが少なくありません。地域包括ケアシステムが下支えとなってはいますがほぼ限界にあることは自明で、認知症患者を受け入れる多くの施設が行動心理症状の対応に苦慮しています。本支部活動を通じてこのような諸問題に関する情報を共有し、認知症になっても安心して住み慣れた場所で少しでも長く生活できるよう会員一同の英知と実践をもって支援していきたいと考えます。その一環として地域をつなぐ産官民のコラボレーションを高めるプロモーターの役割を担うべく、支部会報を年4回季刊発刊し、セミナー開催告知や成果報告のみならず、医療介護関係者からのご提案や会員同士の相談の交流の場になるような公平性のある媒体を目指します。広く投稿、寄稿を募り、提案型、相談型の紙面構成を目指し、また有識者の「リレーエッセイ」や「談論風発欄」など常設紙面も設けます。このように東京都支部は組織横断的な運営を行い、「つながろう！東京」を掲げ、活動していきたいと考えます。関係各位のご理解とご協力ならびに御指導、御支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

誠に恐縮ではございますが、上記趣意をお汲み取りいただき、会報への広告掲載をいただき、ご支援を賜ることができれば誠にありがたく存じます。何卒ご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。末筆ながら貴社のますますのご発展とご繁栄を、心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021年9月吉日

東京慈恵会医科大学内科学講座 脳神経内科教授

日本認知症予防学会 東京都支部長

鈴木 正彦